

令和4年10月14日

大阪府地域医療推進協議会
構成団体 各位

一般社団法人大阪府医師会
広報担当理事 大平 真司

「第43回大阪の医療と福祉を考える公開討論会」のご案内

平素は本会諸事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、この度、大阪府医師会では、標記公開討論会を別紙のとおり開催することになりましたので、ご案内いたします。

今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度と同様、会場内での聴講を中止し、YouTubeでのライブ配信で実施いたします。お使いの端末（パソコン、スマートフォン、タブレット）から無料でご覧いただけますので、大阪府医師会またはMBSラジオホームページからご視聴ください。

詳しくは、大阪府医師会ホームページをご確認ください。何卒よろしくお願い申し上げます。

OMB Sラジオ公式YouTube

<https://youtu.be/3VHajLpAM0Y>

（上記URLまたは右の二次元コード＜QRコード＞
からご視聴ください）



事務局 大阪府医師会広報課

〒543-8935 大阪市天王寺区上本町2-1-22

TEL：06-6763-7013

FAX：06-6766-2872

「第43回大阪の医療と福祉を考える公開討論会」

開催要領

日 時 令和4年10月22日（土）午後1時30分～3時
場 所 毎日放送本社1階 チャヤマチプラザ
（※聴講者を入れず、YouTube でライブ配信）
主 催 大阪府医師会
後 援 毎日新聞社・MBSラジオ・大阪府地域医療推進協議会

テーマ「コロナ禍におけるメンタルヘルス」

子どもたちが抱えるストレス——気付いてあげて、子どもたちのサイン」

新型コロナウイルス感染症が世界に広がり、間もなく3年となる。社会生活においては、外出の自粛や新たな生活習慣がスタンダードとなった。また、新型コロナは学校生活にも大きな影を落とす。新型コロナによる子どもたちのストレス。いち早く子どものサインに気付くことが大切になる。

今回の「大阪の医療と福祉を考える公開討論会」は、昨年と同様にYouTubeによるライブ配信で実施し、多くの方に正しい情報を届けることを重視した。本討論会の開催にあたり、コロナ禍で疲弊した子どもたちの声、学校現場の変化、小児科外来での相談件数——などの実態を調査した。新型コロナの影響をできるだけ見える化し、問題解決の糸口とすることで、子どもたちの明るい未来への提言としたい。

<次 第>

- | | | | |
|------------|---------|-----------|-------|
| 1. 開 会 | <司会進行> | MBSアナウンサー | 西 靖 |
| 2. 挨 拶 | | 大阪府医師会長 | 高井 康之 |
| 3. 討論と質疑応答 | <パネリスト> | | |

関西医科大学総合医療センター小児科診療部長・

関西医科大学小児科学講座診療教授 石崎 優子

大阪市立湯里小学校長 小島 美幸

タレント つるの剛士

大阪府医師会理事 森口 久子

<コメンテーター> 大阪府医師会副会長 阪本 栄

4. 閉 会

◎開催に関する告知は、毎日新聞およびMBSラジオでのCM、大阪府医ニュース、大阪府医師会ホームページなどで行う。討論会の模様は、YouTubeでライブ配信（アーカイブ配信）するほか、後日、毎日新聞に特集記事として掲載するとともに、MBSラジオで放送する。